

地方議会 政策コンテスト

地方議会の政策コンテスト「マニフェスト大賞（ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟主催、毎日新聞社後援）の受賞が10日発表されたが、県議会新

県議会「新21県政会」マニフェスト

参加型公約 高い評価

21県政会「のローカルマニフェスト」の意見に耳を傾けてきた。現在は、来年3月までの公約の実現度を100点満点で数値化し、進捗度や達成度を報告する公聴会を開いて

このような積極的な県民参加型の公約推進が評価された。会派代表の高野光二郎県議は「具体的に分かりやすく、多くの県民を巻き込むことを最重視した。第2弾として、さらに県政の課題を絞った形のマニフェストを掲げられたら……」と語っている。
【服部陽】



県議会第21回定例会の21日、主催者側の一方、県政会が作成した議員会が、白熱したのはな版「ローカ

「期限を設定したと」業振興や福祉充実など、三十三項目を挙げ、二、三、年間政策を実現する、という。同会派が室戸市で開いた公聴会には約五百人が参加。この種の会では珍しいほどの大入りだった。関係者も「さくらがいらん」と漏らすほど、会派の県議七人（一人欠席）やゲストの橋本知事ら

公聴会

公聴会は今後も県内各地で開き、その参加者が口にしたのが、議員の本気度、だった。これまでは見られなかった新鮮さを感じたのではない

「台風のたびに波が堤防を越える個所が増え、何とかして」

「新聞に『二十五年後は人口半減』とあった。具端を見捨てないで」。地域の窮状（室戸支局・横田）



北川正恭審査委員長

由布市議は議員個人として、いかに政策実現を果たしていくかという点でベンチマーク（お手本）となる。有権者や議員はこのような活躍を参考にしたい。

真摯な実践 全国に発信

予算執行権がないと言われる議会でも、確かなビジョンを持ち、住民と共に継続的に課題解決に向けて取り組むことにより、生活者起点で地域の課題を効果的に抽出し、政策提案している実例が目立った。

岩手県議会は複数会派から議会全体へ、栗山町議会は議会として、葉山町議会・新築クラブは会派として、小林華弥子・